

令和5年度 第1回学校評議員会 記録

令和5年6月6日

1 開会

- (1) 評議員委嘱
- (2) 校長挨拶
- (3) 日程説明

2 授業参観

3 報告

- (1) 令和5年度学校経営について
- (2) 令和5年度各学部経営方針及び行事等について
- (3) 令和4年度進路状況報告

○質疑応答

【C 評議員】

A型事業所やB型事業所とは何ですか？

【学校】

A型事業所というのは比較的能力が高い生徒が就労する事業所で、B型事業所はより支援が必要な生徒が入る事業所です。賃金体系も異なっており、A型事業所は給料としてもらうので少し賃金が高く雇用保険などの社会保険の加入義務もあります。B型事業所は本人の実態に合わせて活動できますが、工賃としてもらうため賃金がやや低くなっております。

- (4) その他

4 提言（各評議員から）

【A 評議員】

感想的なものでありますが、先ほど清掃作業の取り組みを見させていただきまして、また明日は企業から講師を招いてといったような説明もあり、作業の質もある程度レベルを保つような工夫や、また、地域との関わりもうまく進んでいるという印象を受けました。

小学部の授業も見させていただきました。音楽を流したり画像を取り入れたりして、子供たちが取り組みやすい環境というのを非常に意識して授業をしているところにいつも感心しています。

また、先ほどのコミュニティスクール、学校運営協議会のような、新たな取組というのも学校の中で検討されており、今後どのようにしていくか引き続き検討いただければと思います。

【B 評議員】

先週ここでの運動会を見させていただきました。率直な感想としては、楽しそうだなと感じました。できることなら、来賓という役ではなくても見たいなと思いました。また、先日の土曜日にあった県の障がい者スポーツ大会でも恵風の生徒は盛り上がっていました。その生徒が今日は真面目に静かに取り組んでおり、メリハリがあつていいと思いました。

先ほど A さんの方からお話がありましたが、小学部の先生もおっしゃっていた、目で見るものや聴くもの、触るものであったりと感覚的な授業をしているところに目がとまりました。最近ではコロナの関係上、私どもが実施する研修について、機会は、確保はしていましたが、結果的に Zoom やオンラインなど限られた感覚の環境の中でやっていました。工夫はしたつもりでありましたが、やはりどこか物足りなく、同じようにいろいろな感覚を使って学べるのは学校に来ないとできないことなのかと思いました。そういう部分の授業は大切にしてほしいと思います。学校でなければできないことがあると思うし、それが卒業すると全くできないわけではないが限られてくるところもあるので、学校生活でしかできないことを、準備していただければと思います。

【C 評議員】

本会に参加できることを嬉しく思っています。今日も感じたのは、職員の方も生徒さんも一つのことに向かって頑張って活動しているということ。私も自分にもっと厳しくしたいと感じます。ありがとうございます。